



第5回ベイタウンまつり



こども さいくる リサイクル

パティオス5番街の前では午後1時から、5番街の自治会で主催する恒例企画「こどもさいくるリサイクル」の抽選会が始まった。サイズが合わなくなって乗り手を失った子ども用の自転車を集めて背丈のちょうどいい子どもに再び乗ってもらおうという企画で、新しい乗り手を抽選で選ぶ。ペイタウンまつりが始まって以来ずっと続いている人気企画だ。

今年の出品台数は49台。これまでは30台程度というから例年になく多い。半数は小学生が乗る大きさで、ほかに、三輪車や幼児向けのものもある。「商品」のなかでもユニークなのはベビーカーやチャイルドシート。なるほど、子ども用の乗り物には違いない。一台一台に1番から順に番号が付いていて、抽選も商品番号1番から順に進めていく。

申し込み用紙の入った封筒から用紙を取り出し、かきまぜ、1枚引く。当選者は原則1000円の代金と引き換えに、希望の「商品」を手に入れる。当選者がその場に居合わせな



いので、改めて引き直すことも何度か。希望者のいない「商品」もある。会場の子どもから、「当たれっ！ 当たれっ！」との声も出た。

希望者がもともといなかったり当選者が現れなかったりで引き取り手のなかった「商品」は、最後にまとめて改めて希望者を募り、引き取り手をじゃんけんで決める。無料ながら希望者のいなかった幼児向け自動車には、3人が名乗りをあげた。すべてが終わったのは1時40分。幼児向けの2台とチャイルドシートひとつが最後の最後まで残った。

「いちばんたいへんなのは、集まった自転車の整備だねえ。汚れやサビ落としがほとんどで、一台あたり平均で1時間くらいかな。まつりの2週間前に募集して集まってきたのを、直前の1週間でやってる。自分のうちでは自転車の手入れなんてしないんで、『なんでひとのうちのばかり』って文句を言われるよ」。発案者の一人、重松政人さん（5番街）はこう話す。企画の内容からみて、てっきり自転車の再生技術に長けているメンバーでもいるのかと思いきや、どうもそんなわけでもなさそう。この街に「出し手」と「受け手」がいる限りずっと続けられる、そのうえ、意外にだれでも取り組むことのできる好企画だ。【茂木】

●持ち込まれる自転車は？

持ち込まれる自転車は案外ちゃんとしたものばかりだそう。素人では修理できそうにないので提供者に返したのは、今年は1台だけという。パンクもまずなく、「だれも乗らないので空気が抜けてしまったものがほとんど」（重松さん）。子ども用



自転車の場合、乗らなくなるのは、壊れてしまったからというより、やはりサイズが合わなくなるから、のようだ。

◀汚れやサビを落とすだけでなく、車体を白く、呼び鈴を黒く塗り直してピカピカ。

●リサイクルの愛用者も！

「企画を続けてきて最近になかあき付くことは？」の問いに、「2,3年前に取り扱って見覚えのある自転車がまた出てきた」と重松さん。どの自転車がだれの手へ渡ったか、「商品」の流れをいちいち記録しているわけではないので、あくまで記憶の範囲には違いない。でも、十分あり得る。子ども用のはここで手に入る愛用者が出てきても、おかしくない。

▶娘さんの乗る自転車を当てた公園東の街の村岡英裕さん。これまでののはこの場に提供したとのこと。



ペイタウンまつりはこうしてつくられている ～まつりの舞台裏を支える住民たち

今年で5回を数えるペイタウンまつりは、連休後の週末をのんびり地元で過ごし、ご近所との交流を図る祭りとしてすっかり定着し、新しい住民を迎えて益々活況を呈しつつある。フリーマーケット、模擬店、バーベキュー広場、コンサート、花火大会…今年はペイタウン・コアでのイベントやラジコンタイムアタックという新しいメニューも加わりおおいに盛り上がった。

これほどの祭りを実行委員会はどうなふうに企画し運営しているのだろうか、と祭りの立ち上げから関わる17番街の佐藤総一さんにお話をうかがった。

スタートこそ企業庁主導で行われたペイタウンまつりだが、翌年からは文字通り「住民による住民のための」祭りとして、自治会連合会の常任委員会であるイベント委員会が中心になり、祭りを手作りしてきた経緯がある。しかし、実際には佐藤さんを含めても4、5人の委員だけではとても手がまわらない。手伝いを引き受けてくれるような人に声をかけながら何とか回を重ねるうちに、祭りをサポートしようというメンバーが徐々に増えていった。

今年の祭りについて言うと、準備は3ヶ月前から始まり、千葉西警察署、千葉県、企業庁、消防署、保健所などの公的機関との折衝および手続き、模擬店関係は佐藤さんが引き受け、フリーマーケットは11番街の小谷崎均さん、ラジコンタイムアタックはCPWの田坂明照さんと仲間たち、公園西の街の小島晃さん、午後のミニコンサートは柴崎隆さん、15番街の鈴木真さんというように、企画ごとにリーダーシップをとる人たちがあられ、すばらしいコラボレーションを見せた。

特に今年初めて行われたラジコンタイムアタックは、田坂さんが接点になってCPWの仲間が企画から運営までを行い、成功させることができた。また、初参加の21番街からは、住民でつくる「オヤジ

会」と「マダムの会」から祭りを手伝いたいという申し出があり、ビールの販売をお願いしたところ、ビール会社から来るはずのビアマイスターが来ず、住民が慣れない手つきでビールをつぐ羽目になったというハプニングもあったとか（「申し訳ない！」）。

連絡放送や迷子のお知らせは、今年もペイタウン中年バンドのメンバーが得意の音響技術の腕を生かして引き受けた。

「今年は朝の6時まで雨が降り、7時に開催を決定してから、普通なら前日に終わっている区割り作業を始めるなどバタバタしましたが、始まってしまえば、それぞれの担当者がうまく進めてくれました。また違うグループ同士が自然に助け合っている場面をあちこちで目にしました。これからは、街区で、有志で、こんなことを祭りですべてみたい！という人たちが手を挙げて参加してほしいですね。こちららは責任者とコンタクトをとって内容を把握してさえいれば、後は安全面に気を配っていればいいみたいな」と佐藤さん。

ペイタウンまつりのフォームは整ってきたが、マンネリ化しないためにも、今後はメニューをいかにエキサイティングなものにしていけるかどうか。これはわたしたち住民のアイデアとパワーにかかっていると断言している（佐藤 則）。

■綱引き大会を盛り上げる仲間も大募集中！

次は、今年から祭りと切り離れたかたちで秋に開催が予定されている「ペイタウンカップ争奪街区対抗綱引き大会」。5番街を敗って昨年カップを奪取した公園東の街が連覇を果たすか、それとも新しい街区が栄冠を手にするか…。

ペイタウン名物の綱引き大会のスタッフを募集中。参加チームの募集は8月から。練習用の綱の貸し出しも行います。

◆連絡先：E-mail: omatsuri@ml-c9.infoseek.co.jp
TEL：043-212-5630（佐藤 宛）

清水康さん

「あー おそうじのおばちゃんだ！」街を歩くと小学校の子どもたちが声をかける。「おそうじのおばちゃん」こと清水康子さんは、毎週打瀬小学校の低学年棟のトイレをボランティアで掃除してきた。最初に始めたのは、今は小学6年生になる孫の夏樹君が打瀬小学校に入学した年だから、もう5年が過ぎ6年目に入ったことになる。

打瀬小学校では、校内の掃除や校庭の草取りに住民のボランティア参加を募集している。6年前に打瀬小学校で校内掃除の一日作業のボランティアを募集したとき、「どなたかトイレの掃除に回ってくれませんか」という先生の声にためらいなく手をあげた。



打瀬小学校と「農園」をバックに、仲良しの古川さん（左）と清水さん。

低学年用のトイレは子どもたちの掃除だけでは十分ではなかったのだろう、力を入れて洗ったが十分にきれいにはできなかった。帰宅して、同居する長女の白石真澄さんにそのことを話すと、「それなら週に一度でも掃除に行ってみたら」と言われ、それから毎週土曜日に二人で打瀬小学校の低学年棟のトイレを掃除することになった。

2年後、このボランティア掃除には6番街にお住まいの西山秀美さんが加わり、そして更に2年後にはミラリオ在住の古川澄子さんが加わった。お二人とも打瀬小学校に子どもや孫が通うわけではないが、清水さんの掃除に心を動かされたという。掃除の日は土曜日から月曜日に変わったが、今この作業はつづいている。

清水さんが生まれたのは、高知県の最も東に位置する「甲の浦」という小さな漁港町。戦時中の昭和10年のことだ。19歳までの娘時代をこの甲の浦で過ごしたが、いつか都会に出たいと思っていた。たまたま大阪から帰省した親類に気に入られ、その親類の経営する機械工具店につとめる事になって大阪に出た。以来ベイタウンに住むこと

になるまで約40年間を大阪で過ごした。

大阪時代には「ラ・セゾン」という家庭料理のお店を学生街で開いていた。元々は、大学に入学した長女の真澄さんが、付近に安くておいしい料理を学生に食べさせる店のないことを見て、開店をすすめたのがきっかけだという。ひまつぶしに、という程度の気持ちで始めた店だが、味の良さに加えて社交的で世話好きの清水さんを慕って、下宿住まいの学生や口コミでやってくる教授連が絶えず、休む間もないほど忙しい日々を過ごした。

その清水さんがベイタウンに住むことになったのは、東京で多忙な仕事をしながら2人のお子さんを育てる真澄さんが、自由で開放的な打瀬小学校の教育に惹かれ、子どもたちをこの学校で育てたいと考えたのがきっかけだった。半ば子育てに協力する形で住むことになったベイタウンだが、この街は大阪で長く過ごした清水さんにも気に入った街のようだ。2人のお孫さんが通う打瀬小学校のそばに住み、掃除の他にも「地域交流特別クラブ」や学習ボランティアで小学校との縁は深い。入学式や卒業式には学習ボランティア仲間のひまわり会の人たちと一緒にいつも招かれる。親しい友達と孫の通う学校の身近に住み、活動することで恩返しができるのが嬉しい。

清水さんのお気に入り、打瀬小学校5年生の「農園」。野菜や草花の好きな清水さんにとって、ここはお住まいの7番街からよく見え、子どもたちとも接することができる楽しい場所だ。撮影スポットは当然この場所に決めた。【松村】

こども・まち・がっこう

シリーズ Vol.3

ウタスポから地域とのかかわりを考える

5月25日に大盛況の中行われた打瀬小学校「ウタスポ2002」では、例年とは違った種目が行われた。地域主催種目である「台風の目」である。この企画のそもそもの始まりは、5月2日付の「ウタスポだより」による地域への種目主催者募集の呼びかけだった。15分間の種目枠の中で、企画、ボランティア募集、競技の実施から後片付けまでの全てを住民が行う条件で、全20種目のプログラムの一つとして地域に募集された。

住民が企画した競技は、長い棒を5人一組になって持ち、13m間隔で置いてある2つのパイロンを2回転して帰ってきて次の組に棒を渡し、リレー形式でその速さを競うという単純なものだが、先生5人、小中学生10人、地域の人10人のチーム構成が4組、計100名もの人数が参加する大掛かりなものとなった。事前の予想に反し、参加希望者はあふれるほどの盛況であり、飛び入り参加以外は正式な参加機会がなかった打瀬小の先生方も20名が参加した。「ウタスポの定番にしては？」という声も出るほどで評判はおおむね良かったようだ。【金一剛】

開校8年目を迎えた打瀬小学校では、増えつづける児童数(現在629名)に対応して、ウタスポの運営には毎年工夫を重ね、準備に伴う負担の軽減と準備期間の短縮につとめている。

それでも子ども達を中心に準備するという考え方から「ウタスポ実行委員会」をつくり、子ども達にプログラムや準備に関する話し合いを徹底させているので準備期間は長い。もちろん子ども達を指導する先生方や打瀬の会行事委員会の方々もウタスポ終了までは相当な時間を拘束されることに

なる。

ウタスポには地域交流をはかるという大きな目的があるが、あくまでも主役は子ども達であろう。交流に重点をおけば地域参加種目を増やしたいところだが、先生方によれば低学年の児童の体力と集中力を考えれば現在のように午後3時終了のプログラムが時間的に

は限界であるという。街の住民が増えてきた現在、発足当時のような地域密着型は限界なのかもしれない。

いろいろな町の出身者が集まって暮らすベイタウンには、過去の運動会の種目に関するアイディアマンがたくさんいるだろう。実際今回の地域参加種目を手伝った方々の中には、子どものいない人、中学や海浜打瀬小の保護者も混じっていた。どうやら、そろそろ街全体で行われるスポーツ大会的なものを企画する時期に来ているのかも知れない。



地域主催種目「台風の目」
最前列は先生チームだった

公民館では運営の暫定ルール作りへ

幕張ベイトウン・コアが開館して早くも2カ月がたった。公民館、図書館、子どもルーム、と施設を問わず、使う立場からは実際の利用を通じていろいろな声がすでにあがりつつある。

そうした中で、公民館では館長の諮問機関となる運営懇談会を6月1日付けで正式スタートさせた。メンバーは打瀬小・中学校校長のほか、住民8人。出身母体は、利用者サークル、自治会連合会、シニアクラブ、コミュニティコア研究会、青少年育成委員会、民生・児童委員、といった具合だ。

すでに、5月18日開催の懇談会準備会での検討を皮切りに、運営ルール作りに取り組んでいる。打瀬公民館の浅野馨館長は、「6月22日に開く予定の懇談会での検討を経たうえで、とりあえず8月から来年3月まで運用する暫定ルールを決める」と言う。

懇談会メンバーでもあるコミュニティコア研究会代表の下川正晴さんによれば、公民館の運営を巡ってしまっている問題点は大きく

三つ。①ホールの性格付けを「多目的」とするか「音楽優先」とするか②利用を希望するサークルが重なったとき優先順位をどうするか③朝・昼・夜と一日を3分割する利用時間の刻みは適当か——といった点だ。

ホールの性格付けを巡る問題が急浮上してきたのは、10を超えるダンスサークルがホールを利用してからのことだ。

音楽利用を想定して設計されたホールには常時200ほどの客席を並べて置いている。ダンスで利用する場合には、客席を一時片付ける必要が出てくる。ダンスサークルにとっては手間のかかる作業だ。同時に、ひじ掛けに付いた金具で横一線にきれいに並べる仕組みのいすに、金具をつ

なげたり・はずしたりの繰り返しは負担をかけることになる。

運営を巡る問題はこれからも出てくるかもしれない。そんなとき、多くの人のいろんな知恵を絞って問題解決に取り組めるといい。

【茂木】

「(仮称) 公民館の運営を考える会」開催

幕張ベイトウン自治会連合会のコミュニティコア研究会では、「(仮称) 公民館の運営を考える会」を開きます。公民館の利用者であれば、だれでも参加できます。この場で提起する話題は公民館のことに限らず、コア全般のことでも構わないとのこと。幅広いで参加をどうぞ。

●日時：6月19日(日) 午前10時から

●場所：幕張ベイトウン・コア講習室

「中高生のための楽しいクッキング」

日時：6月22日(土) 午前10:00～正午

内容：「世界の料理を作って食べる」まずは、イタリアからパスタ・アマトリチャーナ、ティラミス

対象と定員：中・高生の男女16名

会場：打瀬公民館 調理室

受付：6月8日午前10時から材料費500円を添えて、公民館事務室で申込書に必要事項を記入してください。定員になり次第締め切ります。今回は、7月27日(第4土曜日)スペイン料理。7・9・10・11・1・2・3月の毎回募集します。

主催：打瀬公民館

予告：小学生のクッキングは、9月の第2土曜日からはじまります。よろしく。

県立幕張総合高等学校「書道入門講座」

日時：6月22日～来年1月18日の土曜日のうち12回(第1週と第3週、但し6月は第4週、8月と1月第1週はなし)。10:00～12:00。

対象：成人(初心者中心)。定員：30名。教材費：2,500円。

申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、返信用のあて名を明記して、6月10日(当日消印有効)までに

〒261-0014 美浜区若葉3-1-6

千葉県立幕張総合高等学校開放講座担当へ

問合：043(211)6311

「幕張ベイトウン矯正歯科」

6月下旬オープン

場所はグランパティオス公園西の街4番館、メッセ大通り沿いです。

詳しくは e-mail:hirata@green.ocn.ne.jp

吉田憲弘あてにご連絡ください。

「サークル便利帳」

まだ回答いただいていない方へ！

60号でお知らせした「BTサークル便利帳(仮称)」は、今年の秋の発行を目標に情報収集・編集を進めております。各サークルからの回答も集まりつつあります。まだ、回答をお寄せいただいていないグループはお手数ですが、1～3いずれかの方法でアンケート回収にご協力ください。

1. アンケートの内容をP6に記載された編集委員のメールボックスに投函する。
2. アンケートの内容を編集委員へファックス、あるいはメールで送る。
3. アンケートの内容をファミリーマート、ヤンマー、リンコス、デイリーヤマザキ、ベイトウン・コアに設置してある青い投書箱に投函する。

※1と2はどの委員宛てでも構いません。

※アンケート回収後、内容の確認等ご連絡を差し上げるかもしれません。

サークル調査アンケート

1. サークル名



コアとほれはなし

「コーヒーショップ」が人気スポットに？

5月11日開催のベイトウンまつりのときもそうだった。コアのホールでイベントがあると、アトリウムの一隅に「コーヒーショップ」が現れる。カウンターに置かれたガラスびんにカンパを入れると、コーヒーや紅茶を出してくれる。イベントの合い間には裏方を務めるスタッフも出てくるせいか、カウンター前は休息の一杯を求める人でごった返す。

カウンターの向こうで立ち働いているのは、住民ボランティア。イベントを支援するサービスとして飲み物を提供している。「マスター」を自称する辻和夫さんによれば、まつりのときは午前9時30分から準備を始め、片付けを終えたのは午後6時。この間、5人が「店員」を務めたという。3月開催の開館記念イベントで始めて以来、この日で4回を数える。

まつりの日にここを訪れたのは、ざっと370人ほど(主催者発表)。1分に一人の計算だ。常設ではないながら、人気のスポットとして次第に根付きつつあるようだ。

2. 代表者名

3. 連絡先(住所・電話番号、あればメールアドレス、ホームページURL)

4. 活動内容

5. 活動日(毎週火曜日とか、月何回くらいとか)

6. 活動場所

7. 会員の年齢層

8. 会費等諸費用

9. 会員募集中かどうか

10. 保育の有無(子連れ参加が可能かどうか)

◇サークルのPRをひとこと

★あれば写真1枚(返却不要のもの)添付

第3回ベイトウン・クラシック チャリティ・バイオリンコンサート

「天満敦子～望郷のバラード～」

世界を魅了した「天満の響き」がやってくる！

★豊稷の響き。

★ストラディヴァリウスの音色。

★深く届く心の歌。

日時：6月23日

場所：ベイトウン・コア 音楽ホール

コンサート収益金は、全額コア音楽ホールに導入されるコンサートピアノ「ファツィオリ F278」の購入資金にあてられます。

神田外語大学で学ぶ留学生のホストファミリー募集！

アメリカの大学からの留学生をホームステイさせてくださるご家庭を募集しています。日本語や日本の地域事情・社会構造などを神田外語大学で学びます。

滞在期間：夏学期 2002年6月15日(土)～7月28日(日)

秋学期 2002年8月31日(土)～12月22日(日)

期間についてはご相談に応じます。まずは電話・FAXでお問い合わせ下さい。

IES 東京センター TEL:043-211-8678 FAX:043-211-8677

論理とコミュニケーションに強くなろう！！

「ディベート入門講座」

日時：6月29日(土) 朝9:00～昼12:00

場所：幕張ベイタウン・コア講習室

対象：小学校4年生～高校3年生(他の年齢の方も歓迎)

講師：藤川大祐

(千葉大学教育学部助教授、全国教室ディベート連盟常任理事)

主催：寺子屋ベイタウン

連絡先：T/F:211-6853(松村)※定員30名

パティオス 20 番街でブロードバンド体験を！

公団の賃貸住宅「パティオス 20 番街」は、6月1日(土)から17日(月)まで、第2次(100戸)の募集を行っています。この募集では、従来の募集時に生活提案として提示してきましたモデルルームに加え、「Media Life 体験コーナー」を設けました。

「Media Life 体験コーナー」では、今後の公団新規賃貸住宅に標準となる(使用の際は別途プロバイダーとの契約が必要です)ブロードバンド対応の公団インターネット「BB-EAST」を体験していただくことが可能です。インターネット回線を利用した大容量の動画を大スクリーンでご覧いただいたり、実際にお客様にもパソコンを操作していただけるようにしておりますので、公団インターネットの速さを実感することができます。

またこのコーナーでは、これも今後の公団新規賃貸住宅に標準となるBSデジタル・110度CSデジタル放送受信設備による各種衛星放送(受信には別途契約が必要です)も大画面TV・5.1chホームシアターシステムで体験することができます。110度CSデジタル放送とは、BSアンテナとの共用アンテナ・チューナーで受信可能な、今年4月から放送を開始したばかりの新しい衛星放送です。

現地に案内所を設けておりますので、皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場下さい。



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL: 047-478-3711
公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活(株)千葉支店

■この号が皆さんのお手元に届く頃にはW杯サッカーも佳境を迎えていることと思います。私もラッキーなことに観戦できそうです。あなたの出会った「W杯」の写真や情報をお寄せください。たとえば、アイルランドチームをどこそで目撃したとか、みんなに知らせたい耳より情報があればベイタウンコアの投書箱まで。他の編集委員を説得できればニュースの誌面で紹介します。写真は昨年、マンハッタンに宿泊していたイタリア代表チームのDF ファビオ・カンナバロを友人が撮ったものです。



佐藤則子(＃3-310/T&F211-0090)

■習志野市ではリサイクルプラザで「自転車再生教室」という一般向けの講座を開いています。まる二日をかけて1台の自転車をプロの技術指導のもとでよみがえらせて持ち帰る、というなかなかハードなものです。人気の講座らしくて、前回は申し込んだものの選にもれました。次回は7月。こんどこそ。ここで学んで、落ちている自転車を拾って直して売ろうかなと。

茂木俊輔(＃7-305/T&F211-1066/m38032@pp.iij4u.or.jp)

■ベイタウンまつりの時、「本部テントはどこですか?」と質問された。そう言われてみるとそんなものはないので周りを見渡すと、いたいた!ベイタウンの重鎮(?)が売り子、呼び込み、見回り、交通整理などなど・・・ベイタウンの人たちは精神年齢が若いから、本部テントを設置してふんぞり返っている人は誰もおらず、準備から撤収作業まで皆で働いていた。でも何かあったらどうするかって?、皆さんたいの事はご自分で解決されていましたよ!

金一剛(＃3-220/T&F211-0388/ikkim@cc.e-mansion.com)

■今月は、ベイタウンまつりは体調が悪く出られず、ここ3～4日はインターネットが出来る方のパソコンのWindowsが立ち上がらなくなってしまい「ベイタウンの情報」から取り残されていました。一般社会の情報はTVや新聞などから入手できるものの「ベイタウンの情報」から取り残されるのは、とても不安なことです。それだけ、街の変化のスピードが速く多様化しているのでしょうか? 今、早くパソコンを直さねばと、ひじょうに焦っております。

浜田貴代子(公団東 atmark@pop01.odn.ne.jp)

■最近気になること: リンコス前の道路に、例え横断歩道上でも交差点内でも堂々と駐車して買い物をする人が多いこと(偏見かも知れないが、特にBの付くドイツ車が多い)。マリンデッキ上で、飼い犬に平気でおしっこをさせている人がいること。京葉線沿い空き地でさえずるヒバリたちが、工事が始まったらどこへ行くんだろうか心配なこと。そしてサッカー日本代表は、はたしどんな活躍を見せてくれるのだろうかということ。

板東司(＃1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■消防署近くの水たまりでカエルが大量に発生しているという話を聞いた。今までベイタウンでは多くの虫や小動物が“異常発生”している。思いつくまま並べてみると、バッタ、ネズミ、スズメバチ、カタツムリが足の踏み場もないほど道路に居たという話も聞いた。カエルやバッタ程度なら笑えるが、カタツムリなどという話を聞くとさすがに気味が悪くなってくる。いたい僕らの街は、人も含めて正常に発展しているのだろうか。

松村守康(＃10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)



鈴木博子 (すずきひろこ)

千葉市在住

バスの運転は 10 年のベテラン。「ペイタウンは素敵な街で大好き。買い物やウィンドウショッピングが好きなので、今度ペイタウンの新しいお店を探検します」



佐々木則子 (ささきのりこ)

千葉市在住

ペイタウンの子どもたちが、横断歩道ではいつも左右を気をつけて見ていることに感心しました。こちらも気を付けて運転します。



高橋敏行 (たかはししゆき)

43 歳 千葉市在住

休みが不定期なので子どもたちと過ごす時間がとれないのが悩みです。ペイタウンは小さな子どもが多いので、ハンドルを握る手が緊張します。



斉藤亮 (さいとうりょう)

26 歳 船橋市在住

昨年結婚したばかり。趣味はスキーですが、今はスノーボードにはまっています。ペイタウンを走る前はポケットバスを運転していたので、ご存じの方がいるかも。



田崎裕二 (たさきゆうじ)

24 歳 市川市在住

独身です。趣味はサーフィン。休日には外房方面にサーフィンに行きます。ペイタウンは街並みがきれいなので、いつも感心しながら運転しています。

京成バスだより

今回は新しくペイタウン線を運転することになったドライバー 5 人と、花輪車庫でペイタウン線を管理する 2 人の助役をご紹介します。バスで見かけたときは是非声を掛けてください。

トピックス

海浜幕張駅バス乗り場に上屋（屋根）を設置しました。



河内善則 (かわうちよしのり)

43 歳 船橋市在住

運転助役として花輪車庫に勤務しています。ドライバーではないので直接お目にかかることはありませんが、よろしくお願いします。



山倉善光 (やまくらよしてる)

55 歳 酒々井市在住

車両助役として花輪車庫に勤務しています。37 年間京成バスの仕事をしてきました。よろしくお願いします。



いろんな笑顔を結びたい

京成電鉄

homepage <http://www.keisei.co.jp>

お問い合わせ、お気づきの点などは
京成バス船橋営業所

花輪車庫 ☎ 047-431-4476

茜浜車庫 ☎ 047-453-3788

千葉中央駅高速バス案内所

☎ 043-225-8464